

進路だより

『夢をかなえるために……』

札幌市立東白石中学校
第3学年 進路係
第63号
2026年10月27日発行

進学を考える（その1）

高校卒業後の進路について

中学校卒業後の進路選択を行うにあたって、高校卒業後の進路についても考えなければならぬのだということは、担任の先生をはじめ、いろいろな人から言われていると思います。また、先日まで紹介していた「先輩からの便り」でも、多くの先輩が、必要なことだとアドバイスしてくれました。

そこで、この号から少しの間、**高校卒業後の進路に関して**知っておいてほしいことを紹介していきます。自分の希望する職業に進むためには、高校に入学した瞬間から次のことを考えなければならぬケースも出てきます。ですから、決して早すぎることではないと思いますし、知っていれば何らかの参考になると思います。ぜひ読んで、考えてください。

国公立大学か私立大学か、短期大学か専門学校か、一般選抜か学校推薦型選抜か総合型選抜か。これらの選択が早期に行われれば合格圏に入りやすく、遅ければ遅いほど不合格の線が強くなります。当然のことなのですが、この当然を知らない高校生が多いのです。

大学卒業の実力が必要な職業が多い

みなさんの中に、次に挙げる職業に就きたいと思っている人はいませんか。医師・薬剤師・教員・アナウンサー・放送番組制作者・新聞記者・雑誌記者・出版編集者・演出家・映画監督・翻訳家・同時通訳……。これらはいずれも、資格取得の条件が大学卒業となっているか、大学卒業を採用の条件とする職種です。

さらに採用の条件にはなっていないけれども、実際には大学卒業程度の教養を必要としている職種を考えると、これはたいへんな数になります。高級官僚への道となっている国家公務員総合職をはじめとして、公務員の総合職や上級職はすべて大学卒業程度の一般教養と専門知識を条件としています。ほかにも裁判官・検察官・弁護士・自衛隊幹部候補生・一級建築士・一級建設機械施工技士・一級土木施工管理技士・労

働基準監督官……。数え上げていくとキリがありません。

こうした職種に共通しているのは、英語・英会話にしり込みするようではとても無理で、しかも、特定分野についての高度な知識が要求されているということです。日本にはとてもたくさんの大学がありますが、こうした大学卒業程度の教養と知識を要求する職種が多いことを考えると、よほどしつかりとした教育内容を持つ大学に進学しなければ、大学卒にふさわしい職種に就くことは難しいと言わざるを得ません。したがって、努力しなくても合格できそうな大学を選ぶという安易な姿勢ではなく、よほど努力しなければ合格できない大学をめざすという考え方が、必要になってくるとのことなのです。

【参照：「進路指導の要点」 関根庄一 著】

見学会・説明会のお知らせ

◇とわの森三愛高校 学校見学会

1. 実施日 11月8日（日）9：30～12：00
2. 場 所 とわの森三愛高校（江別市文京台緑町569番地）
3. 内 容 全体説明、授業体験、校舎見学、部活動見学など
4. その他 すでに一度、紹介済みですが、再度案内とリーフレット配付の依頼が高校から来ましたので紹介します。
なお、同日の14時から、通信制の見学会も実施されます。

5. 申し込みについて

参加希望者は、高校HPを利用して、高校に直接申し込んでください。定員に達しなければ、実施日の前日まで受け付けてくれます。なお、全日制と通信制のHPは別なので、注意してください。

◇有朋高校（通信制） 学校説明会

1. 実施日 11月15日（日）9：30～14：45
※受け付けは、14：00で終了します。
2. 場 所 有朋高校（北区屯田9条7丁目）3階教室
3. 内 容 動画による学校説明、ブース形式での個別相談
4. その他 学校説明の動画は、教室で随時放映しています。また、上靴は必要ありません。なお当日は、広域通信制のNHK学園も、ブースを用意しています。

5. 申し込みについて

事前の申し込みは不要です。入退場自由となっているので、上記の時間帯の中で、都合の良い時間に参加することができます。